

日本の教会の戦争責任 について

マタイの福音書24章3-14節

2016,8,14 HKJCF

序)

- ①日中戦争から「大東亜戦争」にかけてのキリスト教会の戦争責任は60年代から各教派によって表明された
- ②戦時中のキリスト教会の多数派は戦時総動員体制・キリスト教界弾圧計画に協力し、植民地にもそれを宣伝した
- ③日本の敗戦後71年を迎え、HKJCFの理念である「和解の福音」について確認し、実践する必要がある

I 軍部の戦争計画

1、軍部の主導者なき戦争計画

- ①日清・日露戦争→朝鮮併合:対ロシア
- ②日中戦争→資源確保:対米
- ③大東亜戦争→資源確保:対米英→世界最終戦争→植民地主義から東亜を解放→東亜新秩序(日本を盟主とする大東亜共栄圏の確立)

2、総動員体制

- ①第1次大戦の教訓②超宗教としての国家神道と国体の中枢としての天皇制
- ③キリスト教界への弾圧

II キリスト教会への弾圧

1、軍部の独走と時代の空気

- ①アジア主義②対米戦③関東軍の独走

2、弾圧の順序

- ①社会主義②自由主義者③キリスト教

3、弾圧の内容

- ①宗教団体法・日本基督教団の成立
- ②国家神道、天皇制への協力
- ③聖教会中心 牧師逮捕・解任・解散
→殉教者なき弾圧

III キリスト教会の対応

- 1、日本基督教団の成立への協力
- 2、礼拝中の宮城遥拝の受け入れ
- 3、神社参拝の受け入れ
- 4、零戦の奉献
- 5、韓国教会への神社参拝への圧力
- 6、大東亜の基督者への書簡
- 7、被迫害牧師・教会(旧ホーリネス・アングリカン・救世軍・ものみの塔・無教会等)への非協力
⇒60s,70sの教派の戦争責任の表明

IV 敗戦後の宗教の自由

1、占領下の改革

- ①神道指令:国家神道の廃止②信教の自由②天皇の人間宣言
- ③新憲法1)平和主義2)宗教法人法:信仰と宗教団体の規則に触れ義す
- 2、日本の教会の戦争責任の告白
- 3、アジアへの謝罪と宣教協力
→このような雰囲気とHKJCFの設立
- ①JCFの理念②和解の福音③政教分離
⇒マタイ5:10-13:JCFの責任